

# 神郡マップ

歩いて発見!

かんごおり

現在「日本の道100選」の一つである。

後に参詣道として発展して「つくば道」と呼ばれ、

北条く神郡く筑波をつなぐ運搬路は、

改築するために、三代将軍・徳川家光により整備された

江戸城の鬼門(東北方)を守る筑波山の中禅寺(現・筑波山神社)を

神郡条理という水田の遺構があり、

古くから米作りや田の粘土による瓦作りが行われていた。

館地区には蚕を御神体とする蚕影神社がある。

北に筑波山を仰ぎ、東に連なる山々がのびる神郡。

## 歩いて発見! 神郡マップ

2016年3月発行(第四版)

●この地図について  
2005年11月19日に神郡で行われた、2005アースデイつくば合同企画「歩いて発見! 地図づくり 神郡編」の記録より作成しました。筑波山神社へとつづく「つくば道」沿いの神郡地区を、講師の井坂敦実先生に話を伺いながら、13名の参加者と共に歩き、知見を深めました。旧道や自然、史跡を見つけることで、先人の自然とつきあう生活スタイルを見直すきっかけになればと思います。お気づきの点がありましたら、アースデイつくば事務局までご連絡ください。

●参考文献  
『筑波町史遺物資料集 上巻』筑波町史編纂委員会、1983年『筑波の文化財(寺社建築編・彫刻編・工芸編・絵画編・板碑編・補遺編)』つくば市教育委員会、1989~1991年『郷土の先達とゆく筑波山』結ブックス、2007年『いまに残る郷土の文化遺産 つくばの古絵図』(財)日本地図センター、2006年発行

●監修/井坂 敦実(郷土史研究者)  
●注意  
建物や遺構の多くは個人の所有地であり、神社仏閣は地域の大切な場所。訪れる時は、地域の方々の生活の迷惑にならないようお気をつけください。



交通  
【つくバス】つくバスはつくば市のコミュニティバスです。電話029-883-1111(代)つくば市交通政策課  
●つくバス北部シャトル(約30分間隔で運行)  
TXつくば駅・つくばセンター発→筑波交流センター下車、北条より「つくば道」を通過して神郡へ。  
●つくバス小田シャトル(約40分間隔で運行)  
TXつくば駅・つくばセンター発→大池・平沢官衙入口で下車し西へ向って神郡へ。または北条、筑波交流センターで下車して、北条より「つくば道」を通過して神郡へ。

【関東鉄道バス】  
JR土浦駅より筑波山口行きのバスに乗りし、バス停「北条仲町」で下車。北条が起点のつくば道を北上すると神郡南に至る。または、バス停「大貫」で下車し、東へ1.3km歩くと神郡北の点滅信号に至る。

【りんりんロード】  
筑波鉄道廃線跡に整備した岩瀬土浦自転車道。前述の大貫交差点より神郡北へと続く道と交差する。  
【自動車】  
筑波山入口のある県道沿い、ENEOSのガソリンスタンドがある「大貫」交差点を曲がり、田んぼの道を1.3km直進。神郡北の点滅信号へ至る。

Think Globally, Act Locally.

編集・お問合せ:アースデイつくば実行委員会  
http://aruite.jimdo.com/  
歩いて発見!マップ 市内7エリア公開中  
●筑波山麓 ●神郡 ●北条 ●小田  
●金田・桜川 ●谷田部 ●荃崎

制作/ガイアグラフィクス



普門寺の赤門



普門寺の黒門

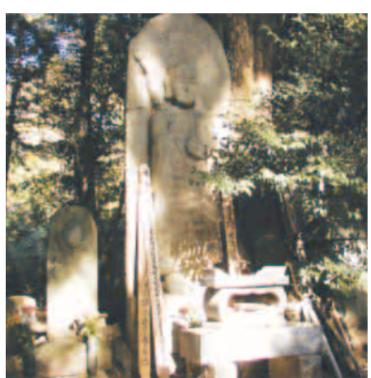
真言宗で鎌倉末期の創建と伝えられる。江戸時代には約三百の門末寺院をもつ。室町から戦国時代には茨城南部を治めていた小田氏(つくば市小田に城跡)の北の祈願寺で、南の法泉寺(大岩田)、東の南円寺(手子沼)、西の大聖寺(土浦市永国)で四方を固めていた。境内に四つの寺にちなんだ歌碑がある。境内にある休憩所やトイレはお借りすることができ。九月二十三日の秋分の日には、歴史講演会と御施餓鬼(おせがき)が行われる。

史講演会と御施餓鬼(おせがき)が行われる。  
赤門・黒門 24  
かつてあった白門と合わせて、参道が極楽への道となるように各門が配色されたと聞く。  
梁の紋様や主柱の飾りから、江戸初期に作られた門が江戸後期に改修再建されたと推定される。

天狗党の石碑 26  
江戸末期、尊皇攘夷を掲げて水戸藩士が天狗党と名乗り筑波で拳



庫裏(くり) 25  
江戸中期の建築。太い柱と高い天井。戸袋がない雨戸と三本の溝の敷居に古い建築様式が見られる。室内に吊り下げられているカゴは、かつて任職が移動するために使われていた。



石造九重層塔 27  
室町時代末の建立。完全に残っているのは珍しい。県指定文化財。近くに、普門寺特有の任職代々の墓が並び、  
入定所(にゆうじょうしよ) 28  
江戸時代に普門寺の任職が即身仏になるために入定した所。入定した穴の上に地蔵がある。今でも毎月、献花に来る方がいる。  
近くに、室町時代の様式をもつ五輪塔があり、小田氏八代孝朝の墓と伝えられている。

神郡の行事  
神郡祇園祭  
毎年七月中旬に行われ、田井ミュージアム①横の駐車場に祭本部が置かれる。かつては蚕影神社からの神輿が担がれていた。  
えびす講  
毎年十一月二十一日。農家が仕事を一段落させて家族でおそばを食べる。神棚に供え物を祭る。

田井郵便局 29  
窓口で郵便を出す時にお願ひする  
と「日本の道路百選 神郡街道」のスタンプを押してくれる。

